

# 131

## 蘭岳

rangaku no.131/autumn

特集：コピペ 何が問題？





## 目 次

### 巻頭言

コピペとオリジナリティ /理事 (学術担当)	空 閑 良 壽	2
------------------------	---------	---

### 特集「コピペ 何が問題？」

研究不正防止—研究倫理と本学の取り組み		
/研究担当副学長	岩 佐 達 郎	4
出版倫理を順守する意義/エルゼビア・ジャパン株式会社	高 石 雅 人	5
良い実験ノートで優れた研究結果を		
/しくみ情報系領域 教授	佐 藤 孝 紀	6
知的財産 (特許) が成立するためには		
/知的財産本部 統轄マネージャー	宮 澤 邦 夫	7
著作権の原則と引用の条件		
/北海道新聞社 電子メディア局	児 玉 昌 樹	8
コピペのラブレター? ~履歴書を書くことは自分の気持ちを知ること~		
/キャリア・サポートセンター長	高 井 俊 次	9
倫理教育		
/技術者倫理グループ	安 居 光 國	10

### 私の推薦図書

もの創造系領域 教授	河 合 秀 樹	11
しくみ情報系領域 助教	夢 田 芳 広	11

### 私の研究テーマ

歴史的建造物の保存・活用に関する研究 —絵鞆小学校の保存・活用—		
/建築社会基盤系専攻2年	中 村 竜 太	12

### 新任教員紹介

もの創造系領域 教授	今 井 良 二	13
ひと文化系領域 教授	松 本 ますみ	13
ひと文化系領域 准教授	曲 明	14
ひと文化系領域 准教授	桑 田 喜 隆	14
くらし環境系領域 助教	浅 田 拓 海	15
くらし環境系領域 助教	下 村 拓 也	15
くらし環境系領域 教授	庭 山 聡 美	16

## 自由投稿

世界放浪の5年間／旧・機械システム工学科 2011年卒業 伊藤 研 人 .....	17
---	----

## TOPICS

『らんらんプロジェクト'14』決まる .....	18
学会賞等受賞者紹介 .....	20

## Information

心や体のことで困ったら・・・ホケカン（保健管理センター） .....	24
図書館からのお知らせ .....	25
男女共同参画推進室からのお知らせ .....	27
授業料について・授業料免除、徴収猶予申請受付 .....	28

平成26年度後期授業時間割 .....	29
---------------------	----

平成26年度学部学年暦（10月以降） .....	34
--------------------------	----

## 編集後記





## コピペとオリジナリティ

学術担当理事・副学長 空 閑 良 壽

我々工業大学の教員は、研究者としてほんの少し例えば、髪の毛1本程度でも世界で初めてのことを見だし、世界に発表しようと頑張っています。ここでいう世界で初めてのことは、何らかの形で社会の役に立つものでなければなりません。私の専門は微粒子工学という分野であり、例えば室蘭工大のグランドの砂粒の数を数えると、きっと世界で初めてですが、論文にはなりませんと、授業中に学生の皆さんによく言っています。工大グランドの砂粒の数がわかって世の中の役にたつとは考えられませんからね。私たちは、世の中で役に立つ初めての発見、工学的知見、すなわちオリジナリティのある成果に敬意をはらいます。

さて前置きが長くなりましたが、理研の小保方さんのSTAP細胞問題で最近、他人の論文の文章のコピペ（コピー&ペースト）、剽窃、盗用、改ざんなどの問題が大きくクローズアップされています。本学の教職員のみならず学生の皆さんにもあらためて、コピペ問題に関して、十分な関心、問題意識をもっていただく必要があります。

以前に本学の情報メディア教育センターの「かぎろひ」という雑誌にも書きました<sup>1)</sup>ように、小学生でもスマホを持ち、IT機器が文房具を越えて子供のおもちゃの一つとなった現代では、IT機器の健全な使い方を学ぶ以前からIT機器を生活必需品、生活の一部として長いつきあいをする時代となっています。野口悠紀雄氏が述べているように、これまでは「知識もっていること」すなわち「物識り」それ自体に価値がありました<sup>2,3)</sup>。しかし、現代ではデータベースや様々な情報を調べたり、整理したりすることだけでも、IT機器を上手に使う方法を知っていれば、情報量は、かつての専門の「物識り」、達人の域に達することはとても簡単です<sup>2)</sup>。ここで、その情報の利用の仕方が問題となります。情報をどこから得たのか、引用元を明確にすれば、それはコピペや剽窃ではなく引用として使えます。他人の文章、情報を用いる場合はたとえ表現を変えたとしても、必ず引用が必要です。

また、コピペ問題からは少し離れますが、どの情報が重要で、どの情報がゴミか？取捨選択すること、どのようなデータベースや検索ツールを用いるかの判断、さらにはkey wordの選択なども重要です。これは、調べる情報

の専門の知識ある人と、素人では大きく異なってきます<sup>2)</sup>。さらに必要な情報をうまく整理し、自分の意見を織り込んでストーリーを作ることができれば、それは素晴らしいレビューや解説にもなりえます。これから皆さんに学んで欲しいことは、コピペ問題を回避することはもちろんのこと、単なる「物識り」になる（雑学知識の寄せ集め）のではなく、目的に向かう道筋を明らかにする洞察力、デザイン力、IT文房具を上手に使う能力を身に付ける心構えやそのための勉強ということになります。

さて最初の話に戻りますと、定期試験でカンニングをすることは大学においては学生の本分にあるまじき行為であり、とても大きなペナルティが科せられることは誰でも知っています。他人のレポートのコピペ、剽窃も同じことだという意識をみなさんは持っているのでしょうか。なぜでしょう。我々がレポートや論文などで書く、いわゆるアカデミックな文章においては、繰り返しになりますが、誰が最初にその文章を書いたか、誰の責任の下、書いた文章であるかということはとても重要になります。それはSTAP細胞の論文の件を待つまでもなく、オリジナリティが誰にあるのか、発見、発明は誰がしたのか、その時期は――特許や発明の権限にもつながる話だからです。私たち工学を志す者はオリジナリティには最大限の敬意を払う必要があります。

参考文献：

- 1) 空閑良壽, かぎろひ, 室蘭工大情報メディア教育センター, 2009
- 2) 野口悠紀雄, 「超超整理法」, 講談社, 2008
- 3) 野口悠紀雄, 「超整理法」, 中公新書, 1998



## 研究不正防止—研究倫理と本学の取り組み

研究担当副学長

岩佐 達郎

「コピペ 何が問題？」という特集ですが、コピペだけではなく「研究倫理」という観点からこの問題を考えたいと思います。現在本学にどのような規則があるかを知っていただき、本学で学び、卒業研究や修士、博士課程の学生として研究を行う学生の皆さんや教職員の皆さんにこの問題について考えていただきたいと思っています。

まず研究不正とはなんでしょう。平成19年10月25日に定められた「国立大学法人室蘭工業大学における研究活動上の不正行為に関する規則」（室工大規則第13号）には第2条に明確に定義されています。

**第2条** この規則において「不正行為」とは、研究活動上の行為であって、捏造（存在しないデータ、研究結果等を作成することをいう。）、改ざん（研究資料、機器及び過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正なものでないものに加工することをいう。）、盗用（他の者のアイデア、分析方法、解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該者の了解又は適切な表示なく流用することをいう。）及びこれらの行為の証拠を隠滅し、又は立証を妨げるものをいう。ただし、故意によるものでないことが根拠をもって明らかにされたものを除く。

ここで、述べられている、捏造（Fabrication）、改ざん（Falsification）、盗用（ひょう窃・剽窃）（Plagiarism）は略してFFPと言ひ、狭義の「研究ミスコンダクト」（Research Misconduct）とされています。本学では、「研究ミスコンダクト」（Research Misconduct）を「研究不正」という語句で示していることとなります。

ここまでくれば、どんな「コピペ」がダメなのか、明らかですね。本学規則の「盗用」に続く文章に「当該者の了解又は適切な表示なく流用すること」とあります。

では、引用であることを明らかにし、「適切な表示」をすればよいのでしょうか。確かにすぐに問題になる

ことはないかもしれませんが、ここで考えていただきたいのは、研究（Research）、さらには、大学において学ぶ、ということの意味です。

先ほど、FFPは狭義の「研究不正」（Research Misconduct）であると述べました。これより広い捉え方として、Questionable Research Practices（QRP）と言われる行為があります。これらは判断の難しいグレーな領域になってきます。

つまり、単に「コピペ」が問題とされているのではなく、「コピペ」に代表されるような「研究者」、もっと広く、「大学で学ぶ学生」としての行動の誠実性や倫理性が問題とされ、問われているのです。「研究」では「責任ある研究：Responsible Conduct of Research；RCR」であり、これは「Research Integrity」と「Research Ethics」によって支えられています。同様に、「Academic Integrity」（大学における誠実性／学問的誠実性）ということも問題になります。もっと基礎に成るのは当然、人間としての「行動倫理規範」でしょう。

大学生としてふさわしい行動規範を示した「Honor Code」というものがあります。スタンフォード大学の例を示します。

<https://studentaffairs.stanford.edu/communitystandards/policy/honor-code>

また、研究活動における倫理的行動規範を示した「Code of Conduct for Research」というものも制定されています。東京大学の例を示します。

[http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/08\\_codeofconductforresearch.pdf](http://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/08_codeofconductforresearch.pdf)

文部科学省は「研究倫理教育」の義務化と強化をはかっていくことを宣言しています。本学でもこれに対応した取り組みを強化していく必要があります。このような外部からの取り組みを待つのではなく、学生や教職員の皆さんが自分の問題として考え、行動されることが最も必要なことであると思います。



## 出版倫理を順守する意義

エルゼビア・ジャパン株式会社  
高石 雅人

エルゼビアでは、今年の3月から「出版倫理のファクトシート」（日本語版）を配布しています。去る6月25日には、このファクトシートを使って、セミナーの講師をさせて頂きました。大変多くの方に論文執筆セミナー、そしてScopusの講習会に参加して頂き、ありがとうございました。改めて御礼を申し上げます。

研究者の皆さんが気を付けるべきことは、この「出版倫理のファクトシート」に網羅されています。この資料は、もともと英語で作成されたもので、日本語だけでなく、スペイン語や中国語にも翻訳されています。それだけ、今日の科学コミュニティでは重要視されている課題となっています。（ダウンロードするウェブサイトはこちら <http://ethics.elsevier.com>）この資料では、出版倫理（英語ではPublication Ethics）の意義と、どのような事象が出版倫理に反するか、その対策を解説しています。

### 【出版倫理の意義】

研究は、過去の研究の上に成り立っています。それが積み重なって、文明の進歩に寄与しています。多くの場合、研究者は先達の研究者の成果の上で研究をしています。その基盤の上で、今後も研究活動が続いていきます。それが科学コミュニティの成長に繋がります。不正なデータに基づく研究は、生命や社会、そして地球にも悪影響を及ぼします。研究活動自体に使われる様々な資源も無駄にします。研究が持つ社会的影響は計り知れません。

間違った研究結果は、社会に悪い影響を及ぼします。いつ、その影響が出てくるかも分かりません。だから、正しい研究成果だけを公表するべきです。そうすることで、健全な科学コミュニティを保つことができます。一度でも、研究者が評判を下げてしまうと、科学コミュニティに対する一般市民の目は、擁護的なそれから、批判的なものになります。その研究者への評価も然りです。倫理的な行動は、他の研究者にも良

い影響を及ぼします。正しい行動をしていると、自分の業績が正しく評価されることに繋がります。論文を撤回するような事態で、自分の評価を下げるべきではないのです。倫理的に論文出版するのが、研究者の評価と科学コミュニティを保つための、唯一のやり方なのです。

### 【最後に】

皆さんが具体的にどういった行動をとるべきか、前述の出版倫理ファクトシートを熟読してください。

そして、研究者として、3つの行動をお勧めします。投稿規定（Guide for Authors）をよく読むこと、不明な点は早めにエディター、教授、アドバイザーなどに質問や相談をすること、そして判断がつかなければ明示することです。





## 良い実験ノートで優れた研究成果を

しくみ情報系領域

教授 佐藤 孝紀

理工系大学の学生や教員、研究者の間でのみ使われていた「実験ノート」という言葉が、今年是一般の方々にも周知されるようになりました。それに伴って様々なメディアにおいて、実験ノートとは如何なるものか、どのように記述するべきか、(著名な科学者が) 私は実験ノートをこの様に書いた等が報じられています。ここでは工学部の研究と実験ノートについて述べます。

卒業研究や大学院特別研究は、一般に(理想的には)、①モチベーション、②これまでの取組みや成果の精査と問題点の究明、③目標設定、④解決(実験)手法の検討、⑤実験遂行、⑥結果の評価・検討および⑦論文作成といったプロセスで進められます。これらの各プロセスにおいて、調べた、考えた、議論した、測定した、評価した、まとめた、すべてのことを記録するのが実験ノートです。必ず一冊の綴られたノートを用い、ボールペンなどの消しゴムでは消せない筆記用具で記録するのが原則です。近年の実験ではコンピュータを使った自動計測が主流であったり、静止画や動画で現象の観測が行われたりしますので、実験ノートにはデータ格納先情報の記録が重要となりファイル・ロケーション・テーブルとしての役割も有しています。実験ノートには実験条件と結果が多く記載されますが、研究計画の全体像と各実験の位置づけを記録することで、学会や論文の締切にあわせた研究のスケジュール管理も可能です。

図1は私の研究室で大学院特別研究を行った学生の実験ノートの内容の一例です。これを含め、研究室所属の全学生の実験ノートが保管されています。日付および気温、気圧、湿度といった環境パラメータの記録からス

タートし、実験条件、実験中の現象観測、原理の確認などが記載され、右側の頁に結果がグラフの形態でまとめられています。なお、この研究の成果については、学生がファーストオーサーとして電気学会論文誌に掲載し掲載されました。

皆さんは自分の実験ノートを持っていますか。何よりも大切なことは、ノートを購入し、「実験ノート」として書き始めることです。実験ノートに記載する内容は前述のとおりですが、その書き方は記入者に委ねられています。はじめから整った実験ノートを作ることは難しいと思いますので、改善を繰り返しながら自分のスタイルを確立させてください。フレッシュマンセミナーや学生実験などの科目は実験ノート作成のOJTの好機でしょう。実験ノートが充実してくる頃には研究のクオリティーも向上していることと思います。皆さんが良い実験ノートから優れた研究成果を得ることを期待します。

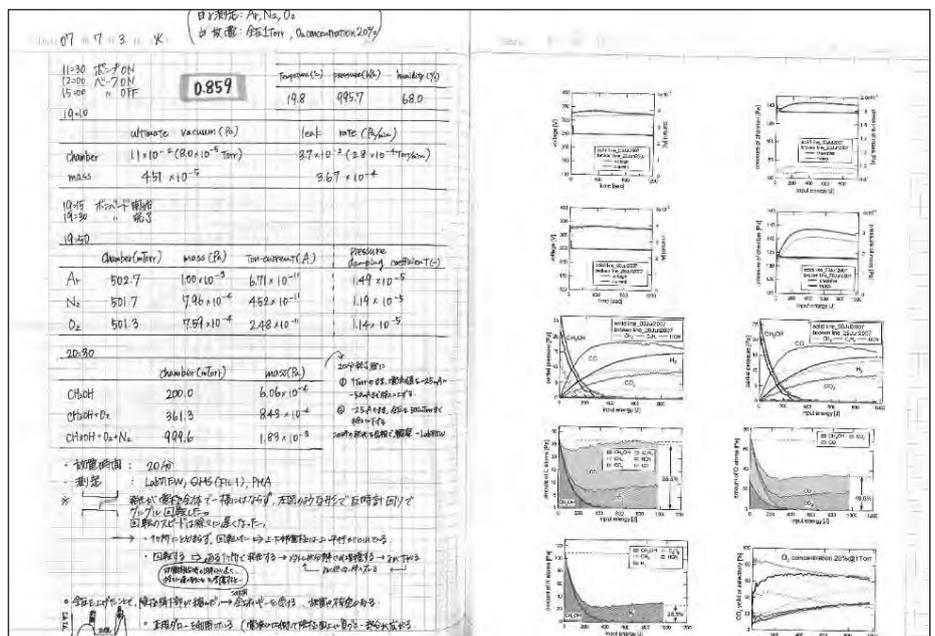


図1 実験ノートの一例



## 知的財産（特許）が成立するためには

知的財産本部

統轄マネージャー 宮澤 邦夫

知的財産のなかで科学技術に携わる者あるいは携わろうとする者にとって重要である特許が成立して特許権を得るためには、第一に特許出願し、特許法の定める要件を満足して審査に合格することが必要です。その要件としては、『発明』であること（2条）、『新規性』と『進歩性』があること（29条）、『発明の開示が充分』であること（36条）、『最先の出願』であること（39条）が挙げられます。

ここで、特許法での『発明』とは、『自然法則を利用』した『技術的思想』の『創作』のうち、『高度のもの』を言い、卒業研究等でも自然科学の分野であれば、大部分が問題なく当て嵌まります。ただ、そこに安易なコピペ（Copy and Pasteの略）が介在する場合は、元になる内容・文章が既に刊行物等に掲載されていると、まず『新規性』の要件を満たさないで、拒絶理由の対象となり特許が成立しなくなります。加えて、『最先の出願』と言うことで、提出日（出願日となる）で最も早く特許庁へ出願されたものでないと特許にはなりません。

また、特許出願書類として、願書に加えて技術書に相当する明細書、権利書に相当する特許請求の範囲、図面（必要な場合のみ添付）、要約書を付ける必要があります。そこで、『発明の開示が充分』であることに関して、明細書における発明の詳細な説明の記載は、

その発明の属する技術分野における通常の知識を有する者（当業者と言う）が実施できる程度に明確、かつ十分に記載することが求められています。さらに、発明に関連する文献公知発明（先行技術）のうち、特許を受けようとする者が出願時に知っているものがある場合、先行技術が載っている刊行物の名称や関連情報の所在の記載が要求されています。

一方、米国では、自ら知っている先行技術文献を情報開示陳述書（Information Disclosure Statement）によって審査官に提出しなければならない義務を負っています。独占権である特許権を取得する代わりに社会に誠実であることが要求される制度で、情報開示義務とも呼ばれます。この義務に履行違反すると、不正な行為または詐欺として、例え特許が成立しても、権利行使ができなくなるので、引用・情報開示等は大事な仕事です。

わが国では、特許制度にこのような厳しい義務は存在しませんが、発明に基づく特許が成立するためには、現状の技術的課題（先行技術の問題）を明らかにした上で、出願する発明がこの課題を解決し、『進歩性』を有するものであることが重要です。そのため、先行技術を正しく引用して記載することが大切な仕事の一つであることに変わりありません。





## 著作権の原則と引用の条件

北海道新聞社

電子メディア局 児玉昌樹

著作権法と引用について、レポート・論文を書く上で最低限これだけは知っておきたい点を説明します。

### 1. 著作権の原則—書いた人・作った人に権利があります

まずは著作権の基本的な考え方を説明します。

文章や写真などを著作物といいます。著作物には著作権があります。権利を持つのはその文章を書いた人、写真を撮った人で、この人たちを著作権者といいます。

著作権者には、自分の著作物を発表したり、複製（コピー）したり、ネットに掲載したりする権利があります。逆に言えば他の人はこれらを禁じられています。

これをあなた自身を例に考えてみます。

あなたが「白鳥大橋の秘密」というタイトルのレポートを書いたとします。このレポートの著作権はあなたにあります。すなわち著作権者はあなたです。このレポートを複製して配布したり、人前で読み上げたり、ネットに掲載することができるのはあなただけです。

では、このレポートを複製したいと思った人はどうすればいいのでしょうか。この場合、その人はあなたの了解を得る必要があります。あなたは利用形態—どういった目的で使うのか、何部複製するのか、だれに配布するのかなど—を確認したうえで、利用を認めるかどうかを検討します。利用の条件に金銭を要求してもよいし、利用形態が意にそぐわなければ断ってもかまいません。

### 2. 著作権の制限—権利が制限される場合があります

以上で説明した通り、あなた自身の著作物についての権利を持つのはあなたです。しかし、ある一定の条件にあてはまる場合、あなたの著作権は制限され、使

いたい人はあなたに許諾を得る必要はないということも著作権法は定めています。これを「著作権の制限」とか「権利制限規定」といいます。

著作権の制限と聞くと難しそうですが、実は日頃から発生しています。たとえば、あなたのブログを読んで面白いと思った人が家族に読ませようと印刷したとしても、あなたは文句をつけることはできません。また、小学校の学習発表会でヒットソングを作曲者に断らずに演奏することができるのも、このような場合は作曲者の権利が制限されると定められているからです。

### 3. 引用—出典明示だけでは引用にはなりません

レポートを書く人にとってもっとも重要な権利制限規定は「引用」です。引用によって他人の研究成果を自分のレポート内に利用できます。

ただし「引用」という言葉を自分勝手に解釈して「これは引用だ」と主張しても当然ながら認められません。引用と言えるのは著作権法が定める条件を満たす場合だけです。

ではその条件はなんのでしょうか。紙幅が尽きたので解説は割愛しますが、「丸写しは引用ではない」「出典・出所を明示しただけでは引用にはならない」という点はぜひ知っておいてください。新聞社で著作権利用の窓口を担当していて、このような誤解が非常に多いと感じています。丸写しは無断転載ですし、出典明示は盗用とならないための最低限の条件に過ぎません。他の条件も守らなければ著作権法違反となります。

引用のルールを知ることで成果発表にまつわるトラブルを防ぎ、研究活動がより実りあるものとなることを期待しています。



## コピペのラブレター？

～履歴書を書くことは自分の気持ちを知ること～

キャリア・サポート・センター長

高井俊次

最近1人で50社も60社もエントリーシートを提出する学生が少なくないと聞く。本学でもその半数程度のエントリーシートを準備する学生はかなりの数に達するようだ。以前からどうすればそんなことが出来るのか不思議に思っていた。履歴書やエントリーシートは、1通を仕上げるのに1週間程度はゆうにかかるもので、そんなものを何十通も作成できるわけがないからだ。

2年ほど前のことだ。ある学生の履歴書作成のお手伝いをしたことがある。それからわずかの時間しかたっていないが、就職状況は今とは雲泥の差であった。今の大学院2年の諸君の中にはその頃の厳しさを覚えている方もいるだろう。その学生も例に漏れずかなりの苦労を重ねていた。

こうした場合のルーティンではあるが、まずこれまでに提出した履歴書を持ってきてもらった。提出された履歴書を見ると、「アア、やはり」という感じを禁じえなかった。

それは、市販の履歴書様式を用いたもので、「志望動機」には「御社の経営理念に惹かれ、子どもの頃から好きだったものづくりで社会に貢献したい」、「卒業研究」には「〇〇教授の指導の下、しかじかの研究を行っている」、「大学時代に力を入れたこと」にはサークル活動が綴られ、「自分の長所・短所」には然るべく記述されている。履歴書の各項目に即してある意味で要領よく記載されているとあってよい。長い苦労の成果と呼ぶべきものかもしれない。

しかし、そこには、その学生の「意思」というものが感じられない。

ためしにこの履歴書はどこに出したものかと訊いてみる。予想通りの答えが返ってくる。「多少は表現を変えますが、大体どこもこれで出してます」と。

その学生は自筆で書いていたので、正確にはコピペにあたらなかもしれない。近頃は履歴書等もワープロで作成する場合も多いから、その場合は間違いなくコピペになる。

そこで、次のルーティンに入る。「あなたは異性に

思いを伝えるとき、何十人も人に同じお手紙を書くのですか？」と尋ねるのだ。

そうすると、多くの方は自分がずいぶんとおかしなことをしていることに気がついてくれる。

履歴書は、自分の思いを伝える手段だ。A3という限られたスペースで自分を表現するものなのだ。なぜその企業でお世話になりたいか、それはホームページに記された経営理念とやらを通り一遍に引いてくるだけでは駄目だ。他とは違うその企業の特徴を自分はどこでどういう風に見つけ、そこで自分はどのような仕事をしたいか、そのために他の人にはないどのような特長が自分にはあるのかをじっくりと書き込まねばならない。そうすると、市販の様式を用いるというのはもっての外だ。自分のアピールしたい点を十分にアピールできるよう様式を工夫することから始めなければならない。意中の異性に一通の手紙を書くように、意中の企業に一通の履歴書、エントリーシートを用意しなくてはいけない。

テレビや新聞は、何十通もの履歴書を書いても合格しないなんて、、と不況期の若者に同情を示してくれる。しかし、問題を取り違えてはいけない。「何十通も書いても合格しない」のではなく、「何十通も書く」から「合格しない」のだ。

景気のいいときは、履歴書にさほど気を配らなくても内定はもらえるかもしれない。しかし、景気のいいときに入った学生は離職率が高いというのもまた事実だ。おそらくそれは十分に自分のやりたいこと、入ってからどういう仕事をするようになるか十分に調べずに入ってしまうことによる覚悟の不足（これを、ミスマッチという）が原因だと思う。実は、自分の本当の気持ちを知る上でも、コピペをしないことは重要なのだ。



## 倫理教育

技術者倫理グループ

安居光國

### 教科・科目と「学」

高校「政経・倫理」の「倫理」と大学の「倫理学」は、どのように違うのでしょうか。科目としての「倫理」では、人格形成の過渡期にある高校生に、人間としての在り方・生き方について理解と思索を深めさせるとともに、良識ある公民として必要な能力と態度を育てることを目的にしています。つまり、科目の「倫理」は小中学校の「道徳」同様、知識を修得しつつ、個人の行動を正しい行動に導くものです。これに対し「倫理学」は、人間の生き方を探求する学問であり、その探求方法は地域、人種、時代、思想家によってさまざまです。よって「倫理学」は学問であり、学ぶ者の行動との関連性はありません。

### 応用倫理

社会人に近づくにつれて、社会のさまざまな動向がもたらす倫理的問題に対処するため応用倫理に出会います。大学では「学」の付く学問を学ぶだけでなく、「情報倫理」「生命倫理」「科学（者）倫理」「技術（者）倫理」「経営（者）倫理」「企業倫理」「教育（者）倫理」「研究（者）倫理」などのいくつかの「倫理」を学び、知識の獲得に加え、自らの「態度」を育てます。いくつかは（者）の有無の2つの倫理があります。例えば、「技術倫理」は主に技術そのものについて考えますが、「技術者倫理」は「技術者」自身の倫理的な考え方や態度、行動を扱います。

### 技術者倫理

それでは、工学部では何倫理を学べばよいのでしょうか。学生は、技術者・科学技術者を目指していますので、何よりも「技術者倫理」を学び、社会から信頼される人材になってもらいたいです。なぜなら、技術者への信頼は絶大です。なぜなら技術者が関わった製品、技術の性能、安全性などを利用者が信頼し、命さえ預けてくれるからです。

室蘭工業大学の教育目標には「倫理観と社会的責任を有した技術者を養成する」と書かれています。そして3年生の必修科目である「技術者倫理」は、全国でも屈指の教育体制を持っており、考える機会を大事にし、「自律した技術者」の育成に努めています。

### 教育目標

いずれの大学においても、技術者倫理教育に対し、「この授業を受ければ倫理観の高い技術者になる」ことが期待されていますが、実際には大変難しいことだと誰でもわかるでしょう。授業では、以下のことを修得します。しかし、倫理的行動が出来るようになるとは言っていません。

1. 技術者が携わる仕事は社会に貢献しているが、何かの間違いで事故を起こすと、多くの被害者を生み、地球規模の問題にもなりうることを自覚する。

2. 組織に入ると、「きっと誰かが指示、解決してくれる」との考えを持つのではなく、技術や製品が起こした問題には、技術者自身が逃げないで解決しなければならない。そして、様々な制約があっても、判断と行動が必ず求められる。このための判断方法を学ぶ。

3. 技術者は優秀であっても一人で出来ることには限りがあり、一人の判断が絶対にベストとは限らない。いつも多様な意見や価値観の存在を意識する必要があること。このため、グループでの取り組みを学ぶ。

### 態度と価値観そして行動

大学の「倫理教育」は多様な関連科目で構成され、背景には哲学、倫理があり、とくに技術者倫理と科学（研究）者倫理が必須です。そして、知識の修得だけでなく、社会との関係における態度や行動が伴うことが求められます。頭では分かっている、理屈が分かっている、態度や行動に移すことは実際には難しいものです。

まず、慣習や前例が邪魔します。人間関係や将来の不安が自分の意見を閉じ込めます。目立ちたくない、事なかれ主義、責任論、面子そしてプライドが足を引っ張ります。無責任、他人事が逃避させます。人間は弱いものです。しかし、正しい行動を選ぶ方法は「倫理教育」のもとで学ぶことができます。学びの次にあるものは、あなた自身の行動です。

もう一度言います。判断ができるように学び、グループ・チームで行動案をまとめ、自律的に行動できるようにしてください。

# 私の 推薦図書

## 娘に語るお父さんの戦記(南の島の戦争の話)

水木 しげる 著

河出書房新社

学内で行われたビブリオバトルで国際交流センターの門沢先生が紹介し、多くの皆さんが賛同していた著書をそのまま紹介したいと思います。

「ゲゲゲの鬼太郎」の著者 水木しげる氏が第二次世界大戦で南方戦線に送られた時の自らの戦争体験記です。皆さんは「戦争」とか「出征される兵隊さん」についてどんなイメージを持っていますか。このエッセーは、「大将」や「司令官」と言った命令を下す人の物語ではなく、陸軍の最も下っ端の二等兵初年兵の物語です。それが水木しげるさんです。軍隊の中でも下っ端の兵隊が如何に理不尽な扱いを受け、いじめられ、そして意味不明の戦闘に駆り出され、玉砕（戦って全滅）を強制されます。水木さんはいつも意味もなくぶんどられ、拳銃の果てには「お前の間抜けの面が気に入らない」と殴られていたそうです。彼は激戦地ラバウルでの玉砕戦に駆り出され、奇跡的に一人だけ生き残ります。何日も何日もアメリカ軍の目を掻い潜ってジャングルの中を逃げまどい、ヘビヤトカゲを食べながら生き延びて

漸く仲間である日本軍の別の部隊に拾われます。しかし、そこでの上官の言葉は耳を疑うものでした。「何故お前だけ死ななかったんだ。今すぐここで死ね。」

のろまで間抜けな面をした水木しげるさんは軍隊で毎日いじめつけられ、最後には「仲間も死んだのだからお前もここで死ね」と言われた訳です。これほど悲惨なことはありませんが、そこは「ゲゲゲの鬼太郎」の作者水木しげるさんのタッチです。いつでもどこかにユーモアを含みながら戦争の真の悲惨さを余すところなく伝えていきます。水木さんはその後の爆撃で左肩を根元から失います。残った右腕で描いた漫画が今ではこれ程までに人気を博し、人の心を打つ作品となっています。真の戦争の姿を知ってもらうために工大生の皆さんに是非読んでもらいたい、心から推薦できる一冊とのことでした。他の日本兵が見向きもしなかった現地住民との心温まる触れ合い。マラリアにかかって命を落としかけた時に助けてくれた友情なども、かけがえのないものになったでしょう。水木さんの漫画の挿絵も多く入っています。国際交流センター門沢先生のところに行けば、蔵書が何冊か置いてあります。すぐに貸してくれるとのことでした。

もの創造系領域 教授 河合 秀樹

## 「凹まない」技術

西多 昌規 著

PHP文庫

本を推薦して下さいと言われた時、普段はポジティブで行動力のある友人が珍しく一ヶ月ほど凹んでいて、そんな時に書店でたまたま目に留まったので手にとって見た本です。この本は凹まないようにするというよりは、凹み続けないようにどうやって立ち直るかといった内容です。凹んでも復活することで強くなれる、凹んだ原因を分析して失敗を繰り返さないようにするなどの凹むことをうまく活用した対処法が具体的に書かれています。学生の皆さんは4年生で研究室に配属されると研究で上手いかかないことや就職活動で第一希望の企業に内定を貰えずに凹むことがあるかもしれません。また社会に出ると叱られる機会も増えるでしょう。そのような時のために本書に限らず似たようなメンタルトレーニング（ヘルス）本は多数ありますので一冊読んでおくと役に立つかもしれません。

## 日本史が面白くなる「地名」の秘密

八幡 和郎 著

洋泉社

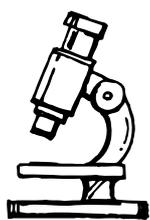
室蘭という地名の由来を知っていますか。室蘭はアイヌ語の『ゆるやかな下り道』という意味の『モルエラン』が語源で漢字は当て字という説が有力です。

この本によるとアイヌ語が起源の地名は北海道だけではなく東北地方にも多く残っており青森県十和田湖もアイヌ語のト（湖）とワタラ（崖）といわれているそうです。北海道にはアイヌ語と関係ない地名もたくさんあります。新十津川は明治時代の大洪水で被災した村民が奈良県から大挙して越してきた町で、隣の伊達市は旧主であり開拓を支援してくれた主君への敬意を表してつけられました。その土地のルーツや地形が地名の由来である町の方が数多く、地名の由来を紐解いていくと偉人達の功績だけではなく、そこに住んでいた人達の歴史を垣間見ることができます。地名の由来だけでなく日本全国の知名に関する話題が数多く載っていますので豆知識として知っておくと国内旅行が少し楽しくなる、読んで損のない新書です。

しくみ情報系領域 助教 冨田 芳広

ここで紹介されている本は図書館でも所蔵しています。

# 私の研究テーマ



## 歴史的建造物の保存・活用に関する研究

### —絵鞆小学校の保存・活用—

博士前期課程

建築社会基盤系専攻2年 中村 竜太

室蘭は、明治後期の日本製鋼所輪西製鉄所の創業開始より、「工業の街」として栄えてきました。その中で室蘭では数々の優れた建築物が建てられ、現在もその幾つかが歴史的建造物として残されています。例えば、向井倉庫（図1）は、平成24年度に私が建築調査を行った建築物で、明治43年に建てられた石蔵となります。向井倉庫の施主は、3代目の高田善右衛門ですが、高田善右衛門は襲名制をとっており、初代高田善右衛門は勤勉な人物のお手本として国の教科書にも取り上げられた近江の大商人です。室蘭には、このような人物縁の建築物が今も残されています。

さて、現在、私が研究対象としている建築物は絵鞆小学校です。絵鞆小学校は、2棟の円形校舎と1棟の矩形校舎からなる建築物です（図2、3）。2棟の円形校舎の建築年は昭和33年、昭和35年で、矩形校舎は昭和52年となります。この円形校舎を設計した坂本鹿名夫氏は、欧米版のライフ誌にも取り上げられた建築家で、円形校舎の有用性を唱えて、日本全国に円形校舎を建築した人物です。絵鞆小学校は、その特殊な建築形態も魅力的ですが、日本の学校建築の歴史の一端を担う、歴史的にも価値が高い建築だと位置づけることができます。ただ、絵鞆小学校は来年度に統廃合し、校舎は空き校舎となります。しかし、上記の通り、建築史的に重要な歴史的建造物だと位置づけられ、また、後述の通り、周辺住民の建物への思い入れも強かった



ため、室蘭市は絵鞆小学校を活用してゆく方向で現在調整を行っています。ただ、前述の通り、絵鞆小学校は、来年度に小学校としての使用は終了します。そのため、今後、絵鞆小学校を活用するためには、小学校

以外の機能を持たせる、いわゆる用途転用が必要とされます。そこで、私は、絵鞆小学校の適切な保存・活用方法を考案することを目的に研究を行っています。

昨年度、絵鞆小の周辺住民にアンケート調査を行いました。その結果、多くの住民の方が絵鞆小学校の保存・活用を望んでいることがわかりました。また、その活用方法としては、地域交流施設としての活用を望む声が多いことがわかりました。しかし、周辺住民の望む機能を持たせるだけでは、必ずしも絵鞆小学校の適切な保存・活用方法になるとは限りません。やはり、多くの人々に活用してもらうためには、街の特質を調査し、その街にとって欠けている機能を明らかにして、街づくりの全体計画の中で絵鞆小学校の保存・活用方法を考えて行く必要があります。よって、本年度は、街の特質の調査を行い、前年度のアンケート調査の結果を踏まえて、より適切な絵鞆小学校の保存・活用方法を提案したいと考え、日々研究に取り組んでいます。



図1 向井倉庫西立面図



図2 絵鞆小学校の円形校舎



図3 円形校舎東棟の螺旋階段

# 紹介

## 新任教員

もの創造系領域 教授

今井 良二 (いまい りょうじ)

本年2月1日に、もの創造系領域航空宇宙工学ユニットに着任いたしました。これまでは重工メーカーの研究所で伝熱、流体に関する研究を、宇宙機、原子力、LNGプラント等をターゲットとして実施してきました。研究は現在立ち上げ中ですが、航空・宇宙機の伝熱、流体に関する基盤技術の研究を実施していきたいと考えています。

着任して半年になりました。学部の基礎科目である航空流体力学および流体力学の学生実験を担当しています。学生にとって初めて学ぶ流体力学を担当しているわけで、責任の重さを感じています。講義の資料を作成する段階で、また、学生からの様々な(思いもよらない)質問に対する受け応えをしているうちに、この年になっても新たな発見をすることがあり、流体力学に対する理解や知識が深まっていくことを実感しています。今後の研究では、企業での経験を活かしつつ、教育機関である大学ならではの成果を上げていきたいと考えています。



ひと文化系領域 教授

松本 ますみ (まつもと ますみ)

4月から赴任した松本ますみと申します。ひと文化系領域に属しております。東アジア地域のエスニシティ論、ナショナリズム論、ジェンダー論等を研究してきました。理系の学生さんに教えるのはほぼ初めてで、やりがいを感じています。

今はどの仕事もコミュニケーション能力が求められるようになっていきます。理由の一つは、IT化です。かつての労働集約的な仕事はコンピュータが代行してくれます。もう一つは、中国や東南アジアの「世界の工場」化です。コンピュータが出来ない仕事では人と人との関わりが求められます。技術者の卵のみなさんは、グローバル化の現在、異なる文化、背景、価値観の人々と大いに交わり、議論をし、コミュニケーション能力を磨いてアイデアを出し続けることが求められています。ぜひサークル、研究室、地域で同世代の人のみならず留学生や社会人のみなさんと親交を深めてください。世界で起こっている事象にも関心を寄せ、同時に情報発信できる人になっていただきたいと思います。技術をもつみなさんこそが世界をよりよい方向に変えることができると期待しています。



# 紹介

## 新任教員

ひと文化系領域 准教授

桑田 喜隆 (くわた よしたか)

2014年4月1日付けで着任しました。情報メディア教育センターでIT関係の教育および研究活動を担当します。

私は、これまでNTTデータで情報システムの設計や構築をしてきました。お客様むけのプロジェクトのマネジメント経験は、大学の研究や教育の場面でも役に立つことと思います。また、専門分野としてグループウェア、分散処理システムやクラウド・コンピューティングの研究をしています。本学でも、教育現場などのテーマを取り上げて、新たな研究活動を始めたいと考えています。

電子工作を趣味とします。フィジカルコンピューティング用のプラットフォームや電子楽器などを設計しています。作品の回路図やソフトウェアなどの設計情報は、誰でも利用可能なように「オープンソース・ハードウェア」として公開しています。インターネットを介したMake (ものづくり) コミュニティも活性化しており、世界中で仲間も増えてきています。地域の仲間も大歓迎ですので、ご興味があれば声をかけて下さい。



ひと文化系領域 准教授

曲 明 (きょく めい)

はじめまして、私は2014年4月に室蘭工業大学に着任しました曲明です。現在中国語の授業を担当し、ひと文化系領域に所属しております。大学院では、応用言語学、特に言語テストを専攻していました。現在CEFRをベースにした外国語教育について研究しております。

私は中国の遼寧省に生まれ、育ち、20代で日本に留学して来ました。留学生の時、指導教官を初め、たくさんの方々にいろいろな形でお世話になりました。その頃から考えていた事は、卒業した後、受けた御恩を世の中及び、周りの人達に少しずつでも返して行こうという事でした。

今日このように室蘭工業大学で働くことができ、心よりうれしく思いますし、また心より仕事を頑張っていて、大学及び周りの人々の役に立ちたいと考えております。

時間があるとき、卓球と太極拳をやっています。教員、学生問わず、今度皆さんとご一緒にできれば幸いです。



# 紹介

## 新任教員

くらし環境系領域 助教

浅田 拓海 (あさだ たくみ)

山と海に囲まれた室蘭は、私が育った小樽や余市に似ており、とても住み良いまちと感じております。また、本学は、学生、教職員の活気にあふれ、研究、教育へのやりがいと大きな期待を感じさせてくれます。

前研究室（中央大学工学部）では、東北地方太平洋沖地震による被災地でワークショップを定期的実施しており、私も幾度か参加することがありました。知るべき、見るべき実情がそこにありました。今の私には、被災各地に知恵を提供できるほどの力はありませんが、人々に震災地の実情を伝え、関心を持ってもらい、地域のつながりづくりに貢献できればと思っています。

近年では、スチューデント・アパシーと言われるように、学生の無気力・無感動・無関心が問題視されています。私は、専門知識だけでなく、上記のように、身近な地域や人について「知ること、見ること」の大切さを伝え、豊かな経験、感性を持つ「面白い人間」を社会に輩出できるよう、精神的に取り組んでいきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。



くらし環境系領域 助教

下村 拓也 (しもむら たくや)

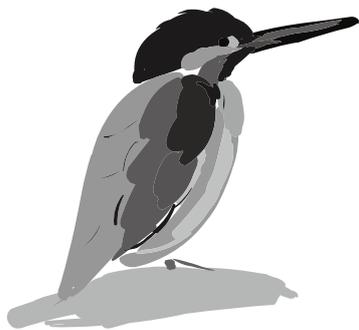
2014年4月1日付で着任いたしました下村と申します。学部では、応用理化学系学科応用化学コースを担当いたします。出身地は、鳥取砂丘で有名な鳥取市であり、北海道に住むのは初めてになります。北海道は本州と比べてかなり寒く、慣れない事も非常に多いですが、豊かな自然に囲まれた室蘭での生活を満喫しております。研究面に関しては、これまでは溶液の物性や構造、溶液内に働く相互作用の解明に取り組んでいました。また、新たな二酸化炭素吸収液の開発と、その二酸化炭素吸収特性に関する研究も行っていました。これからも引き続き同様の研究を行い、室蘭工業大学の発展に少しでも貢献できればと考えております。

学生の皆さんには、大学で学習・経験したことを基に、将来社会で活躍することを願っております。また、先生方や職員の皆様にはご指導ご鞭撻をお願いする次第です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



くらし環境系領域 教授  
庭山 聡美 (にわやま さとみ)

2014年6月1日付けで室蘭工業大学に着任し、応用理化学系バイオシステムコースに所属しております。基礎化学や有機化学関係の授業および研究を担当する予定です。前任地はアメリカ合衆国の二大学で、米国にはトータルで25年在住しておりましたため、久しぶりに戻ってきた日本は外国のようにまでは感じないながらも母国のようにも思えず、そのどちらでもない不思議な第三の国のように感じます。その分おそらく日本ならびにアメリカ合衆国の両国を客観視することができて、グローバル化の面から微力ながらも貢献することが出来るのではないかと思っている所存でございます。もともと北海道・函館市で生まれ、高校卒業まで函館で育ちましたため北海道にはやはり何か落ち着くものを感じます。自然に囲まれた緑豊かなキャンパスでの教育・研究を通じて学生の皆さんが将来いろいろな方面で活躍できるようにお手伝いできましたら幸いです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



# 自由投稿

## 世界放浪の5年間

旧・機械システム工学科 2011年卒業  
伊藤 研人

私は室蘭工業大学を卒業して以来5年間、殆どの時間を海外で過ごしています。最初、日本を出た目的は「将来的に環境保護に関わる活動をするため」でした。環境問題が切羽詰まるほど、世界規模で全体のバランスを考えた活動が必要だと考えたからです。

世界中を見て回って、その後どんな活動をしていくのかは全く想像が付きませんでした。しかし、だからこそ出なければ始まらない。それ以来、想像のつかない環境に身を置く毎日でした。

卒業と同時期に大学のタイスタディーツアーに参加し、タイの人々や自然環境、遺跡、街に触れ日本との違いに多くを感じました。

その後ニュージーランドに移住し、十ヶ国以上の友達と共同生活をしながら、農場や牧場で働き、ダイビング、水中銃でのハンティング、クルーザーヨットのレースを経験しながら英語を学びました。

その後、オーストラリアに移り、バナナ農場での過酷な肉体労働をしながらその多国籍な職場でチームリーダーを務め、その後ダイビングのインストラクターになり、生徒の命に責任を持って英語でダイビングを教えると言う仕事に就きました。更に、放浪を続けてアメリカや中南米では各地の先住民の方々と一緒に生活しながら儀式や祈りを共有して自然と人との関わりを始めとして多くを教わりました。

ヨーロッパでは友人の家を転々とし、時にホームレスと路上で寝ながら近代文明の起源を感じました。

中東、インド、ネパールでは宗教による文化の違いから来る生活の多様性や価値観の違いを目の当たりにしました。

旅をしながら、ご縁で肉体労働や通訳、ガイドを個

人的に頼まれて引き受けた事もありました。

日本に一時帰国した際は講演会などに各地でお招き頂き、今後やっていきたい事に繋がる出逢いも数多く頂いています。帰国後は伝統文化、国際交流、教育に関わる活動を展開していこうと計画しています。

この海外経験を通して、皆さんに伝えたい事は2つです。

一つは、知らない世界に飛び込む事を恐れない事です。知らない事は不安な事ですが、その先に目指したい事があり、本気で取り組めば、暗闇に飛び込んでも活路はあります。そこから得られる学びは得難い物です。その為に可能性や常識を度外視して、一度心底やりたい事を考えてみてほしいと思います。

もう一つは、出逢いを大切にするという事です。

人の世界で生きる限り、人との繋がりが人生を大きく左右します。自分自身、人との出逢いから多くを頂き、学び、信じられない様な展開を経験しました。これまでの出逢いが無ければ今の自分は絶対にありません。

皆さんが素晴らしい大学生活、そして素晴らしい人生を送られますように。

この文章を読んで下さった皆さん、そして私の無謀ともいえる計画に賛成して下さった河合秀樹先生、タイスタディーツアーでご一緒し、今回の寄稿のきっかけを下さった門沢健也先生に心から感謝致します。ありがとうございました。



## 『らんらんプロジェクト '14』 決まる

本学では、学生の皆さんが持っている自主性、創造性を思う存分発揮できる機会を提供し、より充実した学生生活を送るよう、平成13年度に「らんらんプロジェクト」を創設し、以後毎年プロジェクトを募集、学長裁量経費による支援を行っております。

今年度は18件の応募があり、学生サポート委員会で審査の結果、以下のとおり全14件のプロジェクトが採択されました。

プロジェクトの成功を期待しています。

### 『らんらんプロジェクト '14』 採択一覧

プロジェクト名	代表者	目的	実施時期等
工大祭実行委員会企画 - 第54回工大祭ごみ削減プロジェクト-	機械航空創造系 学科2年 吉本 陽	私たち工大祭実行委員会では、工大祭をより楽しく豊かで学術色のあるものにするを活動目的の一つとしています。その目的の一環として「工大祭 ごみ削減プロジェクト」を企画、実施します。まず、露店企画により大量に発生するごみの分別を徹底するつもりです。また、祭中に発生する食べ残し、調理場による生ごみなどを、堆肥化処理装置を用いて土に還すことで捨てられるごみの量を減らしたいと考えています。この学祭を通し、来祭者に環境問題について身近に感じてもらうことがこのプロジェクトの目的です。	平成26年 9月20日(土)～ 21日(日)
工大祭実行委員会企画 - 科学工作教室in 工大2014-	機械航空創造系 学科2年 小檜山 稜太	私たちは実行委員会企画として「科学工作・実験教室」を行います。地域住民の方々を対象として工学や物理・化学に興味・関心を高めてもらい、未来の科学者・技術者の卵を育てると同時に私たちが日々学んでいることを知ってもらうことによって工大への理解を深めてもらうことを目的としています。	平成26年 9月20日(土)～ 21日(日)
工大 Broadcasting Project 2014	情報電子工学系 学科2年 中村 将之	工大祭という室蘭工業大学の一大イベントを通して、地域の人々との交流を促進することを目的とします。また、FMラジオという室蘭市全域に発信されているメディアを使用することにより、様々な地域の人々に聞いてもらうとともに、工大祭をより盛り上げることを目的とします。	平成26年 9月20日(土)～ 21日(日)
工大フラワー プロジェクト	建築社会基盤系 学科2年 木林 茉柚	定期的に、大学構内にいけ花を展示することで、学生の生活に彩りを添えると共に、日本の文化を身近に感じてもらうこと、来校者や地域住民の方をいけ花という“華”でもてなし、歓迎することを目的とします。また、蘭岳コンサートや中島コンソーシウム、地域のお店での生け花展示を行うことで、市民の方に大学の活動を自然な形で知ってもらい、双方の交流を深めることを目的とします。	平成26年6月末～ 平成27年2月
Illumination Factory (IF)	機械航空創造系 学科3年 小松 幸司	大学構内をイルミネーション電球や色とりどりのキャンドルで装飾することにより、学内の環境を向上させるとともに、地域住民の方々に広く見ていただき、大学をより身近に感じてもらうきっかけとします。また、これにより、学生との交流と地域の活性化を図ります。	平成26年12月下旬 ～平成27年1月中旬
まちなかライブラリー	建築社会基盤系 専攻2年 西尾 洸毅	まちなかライブラリー実行委員会は、中島地区にある「中島商店街ふれあいサロンほっとな～る」を拠点として活動を行ってきました。「ほっとな～る」を若者にとってのまちの拠点とすることで若者の買い物だけではなく催し物などの利用によって、まちのにぎわい創出に寄与することを目標としています。	平成26年8月上旬 制作、8月中旬設置

SARDハイブリット ロケットプロジェクト	機械航空創造系 学科2年 岡田 空悟	今回のプロジェクトの目的は以下の3点です。 1) ハイブリットロケットの設計、製作および運用を行うために、材料力学や制御工学などの要素技術を実学として身につけること。2) 学生が自発的に企画し、計画を立てることでプロジェクトマネジメント能力を養い、様々な課題を仲間と協力して解決する能力を創生すること。3) 実際に高圧ガスなどを扱うことで学生の内から安全管理についての意識を高めること。 これらに加えて能代宇宙イベントに参加することで、航空宇宙を志す学生と交流し意識を高め、また、航空宇宙を志す中高生に室蘭工業大学を知ってもらうということも期待できます。	平成26年7月～ 平成27年2月
鳥人間コンテストに 向けた設計・製作と そのテストフライト	機械航空創造系 学科3年 塩野 経介	私たちは鳥人間コンテストと言う目標に挑戦することで自己の能力向上、技術の発展そして空を飛ぶという夢を実現しようとしています。大会参加により座学では学ぶことができない問題解決能力を向上させ、応用力や創造力を身につけることができます。本プロジェクトでは、昨年度から行われている機体の設計を完了し実機を制作、テストフライトを成功させること、さらに、次年度鳥人間コンテストに向けた機体の設計を目標とします。	平成26年7月～ 平成27年2月
ビブリオバトル 室蘭2014	応用理化学系 学科3年 外崎 智巳	私たちビブリオバトル室蘭は、その「ビブリオバトル」を行うことによる、本学学生間及び地域の方々との交流を目的とします。また、新たな試みとして「スタンプラリー」を実施します。	平成26年9月20日、 21日、12月14日、 平成27年1月17日
TEDxMuroranIT	応用理化学系 学科3年 森 公佑	私たちはTEDxカンファレンスの開催を計画し、室蘭工業大学の学生が持つアイデアを発信することで、他の学生や社会人、室蘭市民の方々とその考え方を共有することを目的とします。また、企画・運営を通してデザイン力、プレゼンテーション能力など個々の能力の向上を目指します。	平成26年12月
室蘭笑顔のまち プロジェクト	建築社会基盤系 学科3年 竹内 香澄	市内で集めた笑顔のマッピングを通じて室蘭の魅力を発信し、市内の人に町の良さ、楽しさを再発見してもらうこと、また、市外の人に室蘭に興味を持ってもらい訪れてもらうことを目的とします。このプロジェクトの周知や実現に向けて、工大学生の活動であることを市民の方に知ってもらうことを期待しています。	平成26年6月末～ 平成27年2月
*ゆきあかり*	建築社会基盤系 学科4年 高橋 健斗	イベントを通してにぎわいを創出し、地域の活性化につなげます。	平成27年2月下旬
JSBC2014 室蘭工業大学 構造力学研究チーム	建築社会基盤系 専攻2年 成田 彩華	ジャパンスチールブリッジコンペティション2014(2014年8月30日、31日、開催地：関西)に出場することを目的とします。ジャパンスチールブリッジコンペティションは、学生自身が4mの鋼製橋梁の設計、製作、架設を行い、その設計精度や架設時間、プレゼンテーションなどを競います。日頃の研究成果を実践的に発揮し、「鉄のまち」室蘭の代表として、総合優勝を目指します。	平成26年7月上旬 ～8月31日
室工大ワークショップ プロジェクト	情報電子工学系 専攻1年 中島 幸佑	情報電子工学系学科では、はこだて未来大学と連携ワークショップ(WS)を行い、学生の問題解決能力、コミュニケーション能力などが向上しました。本プロジェクトでは、本学の特徴を活かし、分野の異なる4学科でWSを行い、学生の問題解決能力、コミュニケーション能力、多角的視野を養うことを目的とします。このプロジェクトを行うことで、他学科との交流と研究レベルでの交流が広がることを期待します。	平成26年11月8日、 9日

## 学会賞等受賞者

受賞者氏名 鈴木 悠平  
(すずき ゆうへい)

受賞者所属学科等 博士前期課程  
情報電子工学系専攻2年

表彰機関名 IUMRS-ICEM

賞の名称 Best Poster Award

受賞年月日 平成26年6月13日

表彰の題目・概略 題目 「Effect of nitrogen-radical irradiation for selective growth of InAs on GaAsSb/GaAs submicron dot structures」

概略 本賞は、6月10日～14日に台湾の台北世界貿易中心南港展覽館で開催されたIUMRS International Conference on Electronic Materials 2014 (IUMRS-ICEM 2014) において、特に優れたポスター発表に対して授与された。



指導教員 しくみ情報系領域 准教授 植杉 克弘

受賞者氏名 山田 亮一  
(やまだ りょういち)

受賞者所属学科等 博士前期課程  
建築社会基盤系専攻1年

表彰機関名 公益社団法人 地盤工学会

賞の名称 地盤工学会北海道支部賞 (学生部門)

受賞年月日 平成26年4月25日

表彰の題目・概略 題目 「地震動及び降雨履歴を受けた火山灰質土斜面の力学挙動に関する模型実験」

概略 この発表は地盤工学会北海道支部 第54回年次技術報告会において、優れた研究発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 暮らし環境系領域 准教授 川村 志麻

## 学会賞等受賞者

受賞者氏名 守屋 佑基  
(もりや ゆうき)

受賞者所属学科等 博士前期課程  
応用理化学系専攻2年

表彰機関名 応用物理学会北海道支部会

賞の名称 第17回発表奨励賞

受賞年月日 平成26年3月6日

表彰の題目・概略 題目 銅酸化物超伝導体 $\text{Bi}_2\text{Sr}_{2-x}\text{Ln}_x\text{CuO}_{6+\delta}$  ( $\text{Ln}=\text{La}, \text{Eu}$ ) のノーデルギャップと超伝導

概略 本賞は、第49回応用物理学会北海道支部学術講演会において、優秀な一般講演論文を発表した若手会員に授与されるものである。



指導教員 もの創造系領域 准教授 桃野 直樹

受賞者氏名 佐伯 侑亮  
(さえき ゆうすけ)

受賞者所属学科等 博士前期課程  
建築社会基盤系専攻2年

表彰機関名 公益社団法人 土木学会北海道支部

賞の名称 土木学会北海道支部 優秀学生講演賞

受賞年月日 平成26年4月24日

表彰の題目・概略 題目 「緩衝材として碎石を設置した実RC製ロックシェットの重錘落下衝撃実験」

概略 本賞は、平成25年度土木学会北海道支部技術研究発表会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。



指導教員 くらし環境系領域 講師 栗橋 祐介

## 学会賞等受賞者

受賞者氏名 小 崎 大 樹  
(こさき だいき)



受賞者所属学科等 博士前期課程  
建築社会基盤系専攻修了

表彰機関名 公益社団法人 土木学会北海道支部  
賞の名称 土木学会北海道支部 優秀学生講演賞  
受賞年月日 平成26年4月24日

表彰の題目・概略 題目 「AFRPシート緊張接着曲げ補強RC梁の曲げ耐荷性状に及ぼすせん断スパン比の影響」  
概略 本賞は、平成25年度土木学会北海道支部技術研究発表会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。

指導教員 暮らし環境系領域 講師 栗橋 祐介

受賞者氏名 成 田 彩 華  
(なりた あやか)



受賞者所属学科等 博士前期課程  
建築社会基盤系専攻2年

表彰機関名 公益社団法人 土木学会北海道支部  
賞の名称 土木学会北海道支部 優秀学生講演賞  
受賞年月日 平成26年4月24日

表彰の題目・概略 題目 「三径間連続鋼板桁橋の静載荷実験とその数値シミュレーション」  
概略 本賞は、平成25年度土木学会北海道支部技術研究発表会において、優れた発表と評価され、表彰されたものである。

指導教員 暮らし環境系領域 准教授 小室 雅人

## 学会賞等受賞者

受賞者氏名 宮尾 啓輔  
(みやお けいすけ)

受賞者所属学科等 博士前期課程  
生産システム工学専攻1年

表彰機関名 一般社団法人 日本機械学会 北海道支部

賞の名称 ベストプレゼンテーション賞

受賞年月日 平成26年3月8日

表彰の題目・概略 題目 「リチウムとマンガンの腐食溶解反応を応用したLi-Mn系正極材の合成」

概略 本賞は、第43回日本機械学会北海道学生会 卒業研究発表講演会において、優れたプレゼンテーションを行った発表者に授与される。



指導教員 もの創造系領域 准教授 境 昌宏

受賞者氏名 鈴木 祥弘  
(すずき よしひろ)

受賞者所属学科等 大学院航空宇宙システム工学専攻  
博士前期2年

表彰機関名 日本宇宙航空研究開発機構・宇宙科学研究所  
(JAXA/ISAS)

賞の名称 宇宙輸送シンポジウム優秀学生賞

受賞年月日 平成26年4月1日

表彰の題目・概略 題目 「室蘭工大の小型超音速飛行実験機（オオワシ）の操舵空力特性」

概略 本学・航空宇宙機システム研究センターにおける小型超音速飛行実験機開発プロジェクトの一環として、その操舵空力特性を評価するために、JAXA/ISASにおいて風洞試験を実施した。その成果をJAXA/ISAS主催の平成25年度宇宙輸送シンポジウムで発表したところ、優秀学生賞を授与された。



指導教員 もの創造系領域 准教授 溝端 一秀

# Information

風邪ひいた…お腹が痛い…熱がある…捻挫した…虫に刺された…眠れない…やる気がわからない…大学を辞めたい…  
心や体のことで困ったら・・・

Health Administration Center

## ホケカン (保健管理センター)



センターのスタッフは、  
医師2名（内科・精神科）と、  
カウンセラー1名、  
保健師1名、事務員1名です。



気軽に利用してください。



### ① 健康診断

在学生全員が対象です。再検査の連絡には必ず応じてください。毎年4月と10月（秋季入学者対象）に行っています。

### ② 初期診療

ケガの応急処置や、症状に応じた薬の処方などの簡単な治療が受けられます。専門病院への紹介も行います。毎日どちらかの医師が担当しています。

### ③ 健康相談・カウンセリング

からだに異常を感じたり、こころの不調を感じたとき、学生生活での悩みなど気軽に相談してください。

\*カウンセリングを希望する場合は医師の診察が必要です。

### ④ 証明書の発行

- 健康診断証明書は、健康診断の結果に基づいて発行します。未受診の方はご相談ください。
- 欠席証明書に関しては、診察の際、医師に相談してください。

### ⑤ 禁煙相談

医師から指導が受けられます。必要に応じて、ニコチンパッチを渡しています。

### ⑥ 自己管理の支援

身長・体重・体脂肪計、血圧計、視力計、握力計などが自由に使えます。

## 利用時間

平日のみ。（土・日・祝日は休館）

午前 9:00～12:00

午後 13:00～17:00

(12:00～13:00はお昼休みのため閉館しています。  
緊急時はお声かけください。)

\*カウンセリングは診察後、予約制\*  
水・木曜日 (10:30～15:30)

連絡先 Tel: (0143)46-5855

E-mail: hac@mmm.muroran-it.ac.jp

- \*相談内容等の秘密は守られます。
- \*利用料はかかりません。

ココ!



## 図書館からのお知らせ

新たに開始したサービスや最近実施した事業などを中心に紹介します。  
気になるものがありましたら、ぜひ図書館にお寄りください。

### GPS（技術部パソコンサポート）に パソコンのことを相談できます！

GPSとは、本学技術部で実施している「技術部パソコンサポート」のことです。本学の学生・教職員であれば、パソコンのご相談に対応いたします。

#### <窓口でのご相談>

図書館1Fカウンター（平日13:30～16:30）

#### <メールでのご相談>

gps@mmm.muroran-it.ac.jp



※教職員の方は、電話（内線専用：5969、平日9：00～12：00、13：30～16：30）やリンコムネクストでもご相談できます。

なお、課題・レポートの回答・補助には対応できません。どうぞお気軽にご相談ください。

### PCロッカー好評です！ 使用後は充電を忘れずに

3月から20台に増設した館内貸出用ノートパソコンの利用状況は良好です。セルフ貸出・返却の利用マナーも良く、約7割の学生は使用後ロッカーにきちんと収納し、次に利用する方のためにロッカー内での充電にもご協力くださっています。

特に15時～16時の時間帯は、20台全て貸出中になることが少なくありません。レポート作成などどうしても

もPCが必要な場合は、1Fパソコンエリア、2F PCルームのデスクトップパソコンをご利用ください。



### セルフ式図書貸出返却装置 処理完了確認を！

セルフ式図書貸出返却装置をご利用の方は、1冊毎の処理が完了したことを必ずレシートで確認してください。時々、返却処理がうまくいっていないことに、気づいていない方がいらっしゃいます。



また、「使ってみたけれど少し不安」「使い方がわからない」など、使い方を聞きたい方は、カウンターにお申し出ください。

### 期間限定「もってけコーナー」!!

正面玄関入口付近の「もってけコーナー」（不定期、期間限定）では、図書館で不用となった資料等を本学学生に無償で配布しています。



後期も授業に役立つ図書などの配布を予定していますので、見かけたらどうぞご利用ください。

### 図書館にAEDを設置しました！

4月に図書館1Fパソコンコーナー隣に、AEDを設置しました。開館時間中は利用可能で、緊急時にはご利用ください。

この他、学内には、本部棟1階、学生支援センター（N棟1階）、保健管理センター、体育館の4ヶ所に設置しており、時間外も利用可能なのは、本部棟と体育館になります。



# Information

## 研究不正・倫理に関する本を充実しました！

話題になっている研究不正・倫理に関する図書を、図書館1階の「アカデミックスキルズコーナー」に配架しました。主な本は以下のとおり。



『科学者の発表倫理：不正のない論文発表を考える』/ 山崎茂明著 (2013)

『パブリッシュ・オア・ペリッシュ：科学者の発表倫理』/ 山崎茂明著 (2007)

『科学者の不正行為：捏造・偽造・盗用』/ 山崎茂明著 (2002)

『科学者をめざす君たちへ：研究者の責任ある行動とは』/ 米国科学アカデミー編；池内了訳 第3版(2010)

『科学研究者の事件と倫理』/ 白楽ロックビル著(2011)

『科学者心得帳：科学者の三つの責任とは』/ 池内了著 (2007)

『ラボノートの書き方：理系なら知っておきたい：論文作成，データ捏造防止，特許に役立つ書き方+管理法がよくわかる！』/ 岡崎康司，隅藏康一編集 改訂版 (2012)

なお、「アカデミックスキルズコーナー」は、学習の仕方、論文・レポートの書き方、ブックガイド、プレゼン・発表の仕方、研究不正・倫理、科学英語等の本を揃えたコーナーです。



図書館1階の文庫・新書コーナーの向かい側にあります。

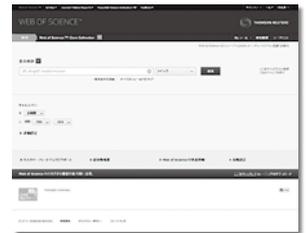
## 本学契約の学術文献データベースの変更します！

本学で契約している学術文献データベース（学術論文等の検索ツール）を、平成27年度から変更することになりました。

新規導入が1件、中止が2件となりますが、新規導入の「Web of Science」は今年10月から利用できるようになる予定です。是非利用してみてください。

<新規導入> Web of Science  
(平成26年10月から)

<中止>  
Scopus, J Dream III  
(平成27年3月まで)



## 図書館ウェブサイト、Facebook、Twitter

図書館では、随時情報発信を行っています。是非チェックしてみてください。

<ウェブサイト>

利用方法、開館カレンダー、本・論文の検索など  
<http://www.lib.muroran-it.ac.jp/>



<Facebook・Twitter>

新着本案内、企画展示、各種お知らせなど  
<http://www.facebook.com/MuroranIT.lib>  
[http://twitter.com/MuroranIT\\_lib](http://twitter.com/MuroranIT_lib)



## 男女共同参画推進室からお知らせ

2014年春から、女性研究者支援ユニット（UFR）が教育・研究1号館A331室に設置されました。UFRでは、参考となる図書の閲覧・貸出のほか、相談も随時受け付けています。妊娠中など体調不良の時に休憩していただけるようソファなども用意しました。学生・院生の皆様、ぜひお気軽にご来室・ご相談ください。



### ● UFRで閲覧・貸出可能な本の一部を紹介します ぜひご利用ください。

アカデミック・スキルズ～大学生のための知的技法入門～（佐藤 望ほか）慶応義塾大学出版会  
2人が「最高のチーム」になる～ワーキングカップルの人生戦略～（小室 淑恵ほか）英治出版  
これからも働き続けるあなたへ～働く女性の不安をやわらげる42の処方箋～（太田 彩子）大和書房  
LEAN IN～女性、仕事、リーダーへの意欲～（シェリル・サンドバーグ）日本経済新聞出版社  
シアーズ博士夫妻のマトニティブック（ウィリアム・シアーズほか）主婦の友社  
子育てハッピーアドバイス～大好き！が伝わるほめ方・叱り方～（明橋 大二）1万年堂出版  
デートDVと恋愛（伊田 広行）大月書店  
力を抜いて生きる（有馬 頼底）講談社  
運命を創る（安岡 正篤）プレジデント社  
パイロットが空から学んだ運と縁の法則（坂井 優基）インテックス・コミュニケーションズ  
アスペルガー症候群 就労支援編（佐々木 正美ほか）講談社  
アスペルガーの男性が女性について知っておきたいこと（マクシオン・アストン）東京書籍  
アスペルガーの女性がパートナーに知ってほしい22の心得（ルディ・シモン）スペクトラム出版社  
可愛いベイビー（五十嵐 貴久）実業之日本社

### ● 開催しました

キャリア形成のためのランチセミナー第1回  
「大学院で身につけたことは仕事と子育てにどう活かされているか？」 講師：長堀 紀子氏  
6月4日(水) 12:00-12:45 A317室

学生向けのキャリア形成セミナーは、今年度からは講義時間と重ならないようにランチセミナーにしました。第1回として、北海道経済産業局地域経済部バイオ産業課課長補佐の長堀紀



子博士に講演していただきました。セミナーの様子は翌日の北海道新聞朝刊27面で紹介されました。第2回は10月30日です（予告欄参照）。

### 参加者の感想からいくつか紹介します：

- 子育てに科学的な考え方が生かせるということがわかってとても勉強になった。大学院に進んで勉強しようという気持ちが高まった。またこのようなセミナーがあったらまた参加したい。（学部2年）
- どうせ結婚して、子供産んだら仕事やめることになるんだから適当に就職しようと考えていたが、実際に子育てと仕事を両立している方の話を聞いて、自分の考えを見直してみようと思った。（学部3年）
- 家庭と仕事、自分のことについて、うまくやっていく方法を、とてもわかりやすく教えてもらってよかったです。これからも「女性と理系」について知る機会を設けてもらえるとうれしいです。（学部2年）

### ● 開催します（予告）

#### キャリア形成のためのランチセミナー第2回

10月30日(木) 12:00-12:45 A317室

（学生・院生対象。性別に関わらず参加できますが申込み多数の場合は女子学生が優先される場合があります。）

講師：佐藤 京子氏

（日建設プロジェクト開発部門）

参加申込み締切は10月23日です。氏名・学科（コース）・学年・E-mailアドレスを添えてUFRまでお早めにお申込みください。

#### 教職員のためのトップセミナー2014

「グローバル経営とダイバーシティ推進」

11月21日(金) 15:00-16:00 本部棟 大会議室

講師：下野 雅承氏

（日本IBM取締役副社長執行役員）



（教職員以外の方も事前申込みで参加できます。教職員の方は出欠を11月14日までにお知らせください。ご来場お待ちしております。）

#### 申込み・問い合わせ先：

男女共同参画推進室 女性研究者支援ユニット(UFR)  
教育・研究1号館A331室（内線5194）

E-mail：ge\_ufr@www.muroran-it.ac.jp

URL：http://www.muroran-it.ac.jp/ge\_ufr/

平成25年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業  
女性研究者研究活動支援事業（一般型）

## 〈授業料について〉

### 【授業料の額】

学部 昼間コース	学部 夜間主コース	大学院
267,900円 (半期額)	133,950円 (半期額)	267,900円 (半期額)
535,800円 (年 額)	267,900円 (年 額)	535,800円 (年 額)

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新しい額の授業料が適用されます。

※授業料を二期連続して所定の期間内に納入しない場合は、除籍となりますので留意してください。

#### (1) 授業料の納入方法

本学では、授業料を預金口座からの引落により徴収しています。

これは、電気・ガス料金等の自動支払と同様に、預金者の口座から自動的に授業料を引落す方法です。

引落時期のお知らせについては、学内の掲示及び個別の通知により行います。

なお、金融機関の窓口を利用して、振込用紙での振込による納入も可能です。

#### (2) 口座引落の手続

本学所定の様式「預金口座振替依頼書（4枚複写）」に必要事項を記入・押印のうえ、4枚目のお客様控を除いた1～3枚目を財務グループ出納ユニットまで提出してください。

なお、取扱のできる金融機関は、全国の金融機関及びゆうちょ銀行です。

#### (3) 口座引落の時期

口座引落日は、前期分授業料が5月27日、後期分授業料が11月27日（引落日が土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌営業日）となりますので、引落日の前日までに、授業料相当額を引落口座へ入金してください。

なお、授業料免除等申請者の方で、半額免除又は免除不許可の場合は、免除の決定がある7月と12月の27日（引落日が土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌営業日）に引落を行い、徴収猶予が許可された場合は、猶予の期限となる8月と2月の27日（引落日が土・日曜日、祝日にあたる場合は、その翌営業日）に引落を行います。

#### (4) その他

領収書の発行については、通帳の印字に代えさせていただきます。

引落口座の変更等を行いたい場合は、財務グループ出納ユニット（TEL：0143-46-5052）までお問い合わせください。

### 授業料免除、徴収猶予申請受付

平成26年度後期分授業料免除、徴収猶予については以下のとおりです。

用紙交付：7月28日（月）～9月17日（水）

申請受付：9月25日（木）～9月30日（火） 13時～17時00分

10月1日（水）～10月3日（金） 10時～11時45分・13時～17時00分

※土・日・祝日は除く。

後期においても、東日本大震災で被害を受け、授業料の納付が著しく困難であると認められる学生の授業料免除申請を受け付けます。

受付場所：学生室厚生ユニット窓口

担 当：学生室厚生ユニット

電話番号：0143-46-5129

e-mail：kousei@mmm.muroran-it.ac.jp



平成26年度 後期授業時間割[屋間コース・2年次]

1時限 8:45~9:30 3時限 10:25~11:10 5時限 12:55~13:40 7時限 14:35~15:20 9時限 16:15~17:00  
 2時限 9:30~10:15 4時限 11:10~11:55 6時限 13:40~14:25 8時限 15:20~16:05 10時限 17:00~17:45

月	東京社会系部系学科				機械航空部系学科				応用理工学系学科				情報電子工学系学科			
	履修学号	土木工学コース	機械システム工学コース	航空宇宙システム工学コース	材料工学コース	応用化学コース	応用物理コース	電気電子工学コース	情報システム工学コース	情報システム工学コース	情報システム工学コース	情報システム工学コース	情報システム工学コース	情報システム工学コース		
1	キャリア・デザイン S8638 高井 N401															
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
火																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
水																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
木																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
金																
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																

※集中講義を受講するためには、履修登録が必要です。

注1※※は2回2開講されている科目の2回目の履修を示す。

注2履修登録していない科目は、成績評価を受けられない。

注3必修科目 選択科目



平成26年度 後期授業時間割(昼間コース・4年次)

1時限 8:45~9:30 3時限 10:25~11:10 5時限 12:55~13:40 7時限 14:35~15:20 9時限 16:15~17:00  
 2時限 9:30~10:15 4時限 11:10~11:55 6時限 13:40~14:25 8時限 15:20~16:05 10時限 17:00~17:45

月	日	建築社会基盤系学科											
		建築学コース	土木工学コース	機械システム工学コース	航空宇宙工学コース	機械空気流系学科	応用化学コース	応用物理コース	電気電子工学コース	情報通信システム工学コース	情報システム学科	コンピュータ応用学コース	
火	1												
	2												
	3												
	4	8S717 (教職)											
	5												
	6												
	7												
	8												
	9												
	10												
水	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6	7 空間の哲学 A1801											
	7	8 松本(主)+谷口 O502											
	8												
	9												
	10												
木	1												
	2												
	3												
	4												
	5												
	6												
	7												
	8												
	9												
	10												

日	時限	情報電子工学系学科										
		建築学コース	土木工学コース	機械システム工学コース	航空宇宙工学コース	機械空気流系学科	応用化学コース	応用物理コース	電気電子工学コース	情報通信システム工学コース	情報システム学科	コンピュータ応用学コース
卒業研究 等	1	卒業研究 ☆☆☆ 1次生教員	卒業研究 ☆☆☆ 1次生教員	卒業研究 II A2602 1次生教員	卒業研究 II A2603 1次生教員	卒業研究 ☆☆☆ 1次生教員						
卒業研究 等	2											
卒業研究 等	3											
卒業研究 等	4											
卒業研究 等	5											
卒業研究 等	6											
卒業研究 等	7											
卒業研究 等	8											
卒業研究 等	9											
卒業研究 等	10											

集中講義	工業経済論 A1802A 榎林(涼口・教務グループ)		航空宇宙工学特別講座D A2301 福地(涼口・東野)		原子力工学 Y4401 大田(伊三郎)山口教員 佐藤(孝)	
------	----------------------------	--	-----------------------------	--	-------------------------------	--

必修科目

選択科目

※集中講義・卒業研究を受講するためには、履修登録が必要です。  
 ※4年生が1~3年生の集中講義を受講する場合、開講時期によっては、卒業審査会側に間に合わない場合があります。

平成26年度 後期授業時間割[夜間主コース]

1 年 次

2 年 次

月	機械航空創造系学科	情報電子工学系学科	機械航空創造系学科	情報電子工学系学科		
1	物理学実験 A7503 桃野(直)・雨海 物理学実験室	電気数学Ⅱ A8501 酒井 A250	機械航空創造系概論 (前半8週) A7606 風間・世利・相津・河合 C108	現代社会と情報工学 A8608 畑中 C207		
2			機械航空創造系演習 (後半8週) A7605 藤木・松本 C108			
3			社会環境基礎論 S9624A 丸山 C103			
4						
5			人工知能論 A8607A 新任 C205			
6						
火	基礎物理B A7502A 柴山 C107	基礎物理B A7502B 柴山 C107	計測工学 A7602A 相津・船水 C205	計測工学 A7602B 相津・船水 C205		
3	英語リーディング演習 S9602 プロドスキー C103		伝熱工学 A7601 清水 C203	電子回路Ⅰ A8603 佐藤(信) C108		
4						
5						
6						
水	日本近現代史B S9604 一瀬 C104		航空宇宙構造力学 A7604 境 C203	電磁気学Ⅱ A8601 松田 A249		
3	日本の憲法 S9606A 清末 C108		日本の憲法 S9606B 清末 C108			
4						
5						
6						
木	ヨーロッパ史 S9603 本間 C103		ドイツ語Ⅱ S9621A クラウゼ小野 C206 ロシア語Ⅱ S9622A 大川 C205 中国語Ⅱ S9623A 加部 C104			
3	解析B A7501A 加藤 C107	解析B A7501B 加藤 C107	空気力学 A7603 斎藤(務) C104	デジタル信号処理 A8605A 鈴木(幸) C208		
4				ソフトウェア工学 A8606A 岸上 C203		
5						
6						
金			機構学 A7504 寺本 C104	プログラミング A8502 佐賀 R105		電気回路Ⅱ A8602 関根 A249
3			TOEIC英語演習A S9601 島田 C309			工学演習 A8609 大鎌・秋山 C310
4						
5						
6						

集中講義

スポーツ実習Ⅱ S8552B 上村 ※履修登録は行いません。
科学と倫理 S9605 田島(窓口:亀田)

集中講義

認知心理学の諸問題 S8709B 宇野(窓口:前田(潤))
-------------------------------

3 年 次

4 年 次

月	機械航空創造系学科	情報電子工学系学科	機械航空創造系学科	情報電子工学系学科		
1	システム制御工学 A7707A 青柳 A249	システム制御工学 A7707B 青柳 A249				
3	社会環境基礎論 S9624B 丸山 C103					
4		人工知能論 A8607B 新任 C205				
5						
6						
火	機械システム設計学 A7704 風間 C104	情報工学演習C A8707 太田 R105				
3	材料プロセス学 A7705 長船 C205	情報工学演習D A8708 服部 R106				
4						
5						
6						
水	確率・統計 A7706A 沖井・工藤 C107	確率・統計 A7706B 沖井・工藤 C107				
3		電子物性論 A8704 福田 C203				
4						
5						
6						
木	ドイツ語Ⅱ S9621B クラウゼ小野 C206 ロシア語Ⅱ S9622B 大川 C205 中国語Ⅱ S9623B 加部 C104					
3	機械航空創造系実験 A7701 湯浅 C205		デジタル信号処理 A8605B 鈴木(幸) C208			
4			ソフトウェア工学 A8606B 岸上 C203			
5						
6						
金			機械材料学 A7703 世利 C203			
3			機械航空創造系セミナーB A7702 長船 C205	電気電子工学実験Ⅱ A8709 梶原・渡邊(浩) 佐藤(信)・佐藤(慎)・遠山		
4						
5						
6						

卒業研究等

卒業研究Ⅱ A7801 卒業研究 ☆☆
---------------------

集中講義

情報関連法規 A4721B 本間(窓口:沖井)
----------------------------

集中講義

工業経済論 A1802B 越後(窓口:教務グループ)	工業経済論 A1802C 越後(窓口:教務グループ)
-------------------------------	-------------------------------

講義時間帯

1時限 17:00~17:45
2時限 17:45~18:30
3時限 18:40~19:25
4時限 19:25~20:10
5時限 20:15~21:00
6時限 21:00~21:45

必修科目
選択科目

注:履修登録をしていない科目は、成績評価を受けられない。  
注:『※※』は週2回開講されている科目の2回目の授業を示す。  
注:『☆☆』は、前期からの通年科目を示す。

※4年生が1、3年生の卒業研究を受講するためには、履修登録が必要で、卒業審査会議に間に合わない場合があります。

# 平成26年度 学部学年暦（10月以降）

## 平成26～平成27年カレンダー&行事日程

10月						
日	月	火	水	木	金	土
			1 (水)-1	2 (木)-1	3 (金)-1	4
5	6 (月)-1	7 (火)-1	8 (水)-2	9 (木)-2	10 (金)-2	11
12	13	14 (火)-2	15 (水)-3	16 (木)-2	17 (金)-3	18
19	20 (月)-3	21 (火)-3	22 (水)-4	23 (木)-3	24 (金)-4	25
26	27 (月)-4	28 (火)-4	29 (水)-5	30 (木)-4	31 (金)-5	

1日 後期授業開始  
1～10日 後期履修登録期間  
16日 月曜日の振替授業日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 (月)-12	10
11	12	13 (火)-12	14 (水)-12	15 (木)-12	16	17
18	19 (月)-13	20 (火)-13	21 (水)-13	22 (木)-13	23 (金)-13	24
25	26 (月)-14	27 (火)-14	28 (水)-14	29 (木)-14	30 (金)-14	31

9日 月曜日の振替授業日  
16日 大学入試センター試験  
準備（臨時休業）  
17～18日 大学入試センター  
試験

11月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 (火)-5	5 (月)-5	6 (木)-5	7 (金)-6	8
9	10 (月)-6	11 (火)-6	12 (水)-6	13 (木)-6	14 (金)-7	15
16	17 (月)-7	18 (火)-7	19 (水)-7	20 (木)-7	21 (金)-8	22
23	24 (火)-8	25 (水)-8	26 (木)-8	27 (金)-9	28	29
30						

5日 月曜日の振替授業日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2 (月)-15	3 (火)-15	4 (水)-15	5 (木)-15	6 (金)-15	7
8	9 (月)-16	10 (火)-16	11	12 (木)-16	13 (金)-16	14
15	16 (水)-16	17 (火)-17	18 (水)-17	19 (木)-17	20 (金)-17	21
22	23 (月)-17	24	25	26 (木)-18	27 (金)-18	28

9～16日 定期試験・補講日  
13日 卒業研究論文提出期限  
16日 水曜日の振替定期試験  
補講日  
17～20日 定期試験予備日  
23～27日 集中講義期間  
24日 入学試験準備（臨時休業）  
25日 入学試験（臨時休業）  
28日 春期休業 ～4月5日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1 (月)-8	2 (火)-9	3 (水)-9	4 (木)-9	5 (金)-10	6
7	8 (月)-9	9 (火)-10	10 (水)-10	11 (木)-10	12 (金)-11	13
14	15 (月)-10	16 (火)-11	17 (水)-11	18 (木)-11	19 (金)-12	20
21	22 (月)-11	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

23日 冬期休業 ～1月8日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

23日 学位授与式

- 凡例
- : 授業日  
(後期授業日：10月1日～2月6日)
  - : 集中講義期間（対象講義のみ）  
(授業担当教員の都合により、上記以外の期間に実施することもある。)

- : 定期試験・補講日
- : 定期試験予備日
- : 休業日
- X : 臨時休業日

振替授業日一覧  
10月16日 月曜日の振替授業日  
11月5日 月曜日の振替授業日  
1月9日 月曜日の振替授業日  
2月16日 水曜日の振替定期試験・補講日

## 室蘭工業大学のキャンパス内は 全面禁煙です



敷地境界付近での、吸い殻ポイ捨てもやめましょう

## 編集後記

「蘭岳」131号をお届けいたします。ご多忙の中寄稿いただきましたみなさまに心よりお礼申し上げます。

本号では、最近ときどき話題になる「コピー」に関連して倫理に関する問題が取り上げられています。研究における実験、研究の成果を発表する論文の作成や、成果に基づく特許の出願、就職活動におけるアピール、研究者または技術者としての活動など場面は多岐にわたっており、学生諸君には、倫理問題を考えるきっかけを与えてくれると思います。それぞれの場で問題に直面している諸君も、将来身をおく諸君も、本記事を読んで考えたことを役立ててくれるよう期待しています。また、しばしば倫理(モラル)と併せて取り上げられる礼儀(マナー)や規則(ルール)にも関心をもってほしいと思います。なお、本記事ではあまり強調されていませんが、今考えるべきであるものに大学生としての倫理(用語にはなっていないかもしれませんが、「学生倫理」)があるかもしれませんね。

(M. Y.)



